

藤沢記者クラブ各位

クロアチア駐日大使に藤沢市民病院を訪問いただきました
～内視鏡手術・内視鏡センターを見学～

2025年（令和7年）2月27日、クロアチア駐日大使が藤沢市民病院を訪問し、全身麻酔下の内視鏡手術・内視鏡センターを見学されました。

当院の消化器内科：福地 剛英 医師が早期消化管がんにおける内視鏡診断と治療について、２０１８年（平成３０年）からクロアチアでの技術指導・支援を横浜南共済病院 総合内科部長の濱中 潤 医師とともに実施しており、その一環としてクロアチア駐日大使から最先端の内視鏡治療・設備の見学についてご要望がありました。

今回の藤沢市民病院への訪問・見学により、クロアチアでの内視鏡治療技術の更なる向上とクロアチアと日本の文化交流の深化が期待されます。

- (1) 訪問者 ドラジェン・フラスティッチ クロアチア駐日大使
(Dra ž en Hrasti ć, Ambassador of Croatia)
- (2) 見学内容 ・内視鏡手術（術式：全身麻酔下 ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術））
・内視鏡センター
- (3) 術者 藤沢市民病院 消化器内科 医長 福地 剛英 医師
- (4) 訪問・見学時の様子



- (5) ドラジェン・フラスティッチ クロアチア駐日大使コメント
日本の内視鏡手術の最先端技術に深く感銘を受けました。この訪問を通じて、協力の重要性を改めて実感するとともに、日本とのパートナーシップを一層強化し、クロアチアの内視鏡治療技術の向上と知見の共有に努めてまいります。
- (6) 西川 正憲 院長コメント
クロアチア駐日大使にご来院いただき、大変光栄です。今後もクロアチアと日本の医療を通じた交流が続いていくことを願っています。

＊この資料に関する問い合わせ先

藤沢市民病院 病院総務課

担当：田口、忽滑谷

病院代表：0466(25)3111

病院内線：8426